

発行日 2020年12月1日
発行所 姫路市地内町1番地

発行者 山陽教区教化委員長 中根慶滋
編集 広報・情報発信部門

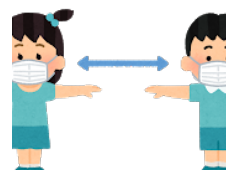
この新型コロナウイルスの蔓延下にあって、またいつこの状況が治るかもわからない中、教区・組の各種事業は元より、各ご寺院の法要・法座といった行事も、開催の中止や延期、開催規模の縮小や形態の変更など思案し苦慮されていることと存じます。

そのような中、青少幼年教化において、今だからこそ様々な方法で「青少幼年と共に悩み、共に生きる」ことを確かめ合う場を開こうと試行錯誤しておられる方々がいます。

このたびは、各現場での様々な教化活動の企画・開催の一助となるよう、色々な活動やその願いの一端を紹介させていただきます。

- ① 人数を制限し、感染症対策を講じたうえで子ども会を開催しているお寺があります。
・ 1グループ5人、距離を確保してのお勤め、ゲームなど。

例 1回目 10:00～
2回目 11:00～
3回目 13:00～



- ② 屋外でのお楽しみ会、清掃活動を通して子どもたちと出会う場を開いているお寺があります。
・ 掃除をしながら、子どもたちと会話する。



- ③ 今まで子ども会に参加してくれていた子どもたち、これから参加してほしい子どもたちに、手紙を書いてメッセージを送っている方がいます。
・ 一緒に聞きたい法語など。



- ④ Web会議ツールを使って、インターネットでの子ども会を開催している方々がいます。
- ・各家庭からの参加もしくは、お寺からの参加。



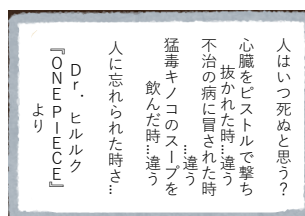
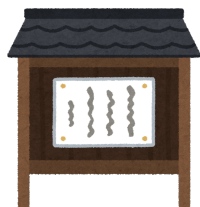
- ⑤ 動画をインターネット配信して子どもたちに教えを届けている方々がいます。
- ・おはなし、ゲームなど。



- ⑥ 月忌参りや法事に絵本・紙芝居・風船などを携帯し、普段の法務が青少幼年教化の場となるよう努めておられる方々がいます。
- ・お参りしてくれている青少幼年に声をかける。



- ⑦ お寺の掲示板に漫画やアニメから引用した言葉を掲載する、ふりがなや易しい解説をつけて子どもにも伝わるよう意識するなど、掲示板伝道を青少幼年教化に活用しているお寺があります。
- ・通学中の子どもたち、地域の若者も見てくれています。



今後も、教区内の教化活動の支えとなることを願い、情報の共有を進めてまいりたいと思います。周りで行っている教化活動の内容をお知らせいただけると幸いです。

広報・情報発信部門からのお知らせとお願い

教区ホームページをご覧ください <http://sanyo-kyoku.jp>

Facebook @sanyokyoku

Twitter @sanyokyoku_koho

Fax 079-292-1747 (山陽教務所)

E-mail sanyo@higashihonganji.or.jp



- ・各種関係書類がダウンロードできます
- ・教区内での活動情報など、掲載ご希望の方はご連絡下さい
- ・ご意見、ご感想、ご要望等、お聞かせ下さい